

高等学校における教科指導の充実

国 語 科

「読むこと」の指導の工夫

栃木県総合教育センター
平成19年3月

ま え が き

学力に関する国際的な調査や教育課程実施状況調査では、日本の高校生の学力の状況や学習に対する意識などが明らかにされ、国のレベルからも学力向上のための様々な提言がなされています。栃木県では、「とちぎ教育振興ビジョン（二期計画）」を策定し、中・長期的な展望に立った教育施策を、平成18年度より新たにスタートしました。ビジョンでは、「確かな学力」を育成することを教育施策推進上の重要な観点として掲げ、教材や指導の工夫をすること、思考力・判断力・表現力などを高める学び合いを充実することなどの指導のポイントを示しています。

各学校においても、教育活動の改善充実に日々努めているところですが、特に教科指導においては、限られた時間の中でも効果的な指導を展開して、生徒の学力向上に資することが大切です。

これらのことを踏まえ、総合教育センターでは、「高等学校における教科指導の充実に関する調査研究」に取り組んでおります。この調査研究の目的は、基礎・基本の確実な定着を図るための授業改善を目指して、教科指導の在り方について研究し、その成果を普及することにより、学力の向上に資することにあります。今年度は、国語科、数学科、理科（物理、化学、生物）、外国語科（英語）の4教科において、教育課程実施状況調査等の調査結果から指摘されている課題を踏まえ、その解決を図るための授業改善の方策等について研究に取り組みました。研究の成果をまとめた本冊子を、各学校の事情に応じて有効にご活用いただければ幸いです。

最後に、今年度の調査研究を進めるにあたり、ご協力いただきました研究協力委員の方々に深く感謝申し上げます。

平成19年3月

栃木県総合教育センター所長

五味田 謙 一

目 次

はじめに	1
事例1 表現に着目して「ナイン」を読み深める	2
事例2 「書くこと」の言語活動を通して「春愁」を読み深める	9
事例3 「人虎伝」との読み比べを通して「山月記」を読み深める	17
事例4 「『である』ことと『する』こと」の論旨を的確に読み取る	25
おわりに	35

「読むこと」の指導の工夫

はじめに

国語科では、教育課程実施状況調査やOECD生徒の学習到達度調査（PISA）等の結果から指摘されている課題を踏まえ、学習指導要領の趣旨に則り、今年度の研究テーマを『読むこと』の指導の工夫」として、研究に取り組んだ。

PISA調査の「読解力」に関して、日本は2000年調査の8位から2003年調査の14位へ大きく順位を下げた。PISA調査における「読解力」とは、「自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参画するために、書かれたテキストを理解し、熟考する能力」と定義されている。PISA調査で課題とされた「読解力」を育むためには、学習指導要領に示された、「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の各領域にふさわしい教材や言語活動例を調和的に取り上げ、指導の改善を図り、国語力を総合的に高める必要がある。このようなことから、本研究調査において、平成17年度は「書くこと」に関する事例を扱った。今年度は「読むこと」に関する事例を扱い、指導の工夫・改善の研究に取り組んだ。

各事例で扱った単元は次のとおりである。

事例1 表現に着目して「ナイン」を読み深める

生徒が関心をもった表現を中心に取り上げて、その表現を味わうとともに、作品を通して自分なりの考えを深めさせるための指導。

事例2 「書くこと」の言語活動を通して「春愁」を読み深める

主人公の立場、作品中の人物像、物語のその後などについて、考えたり感じたりしたことを書くという言語活動を通して読み深めさせるための指導。

事例3 「人虎伝」との読み比べを通して「山月記」を読み深める

「人虎伝」との読み比べを通して、素材文の表現を味わうとともに、自分なりの考えを深めさせるための指導。

事例4 『である』ことと『する』ことの論旨を的確に読み取る

各段落のキーセンテンスを押さえて、要旨を的確にとらえさせるための指導。

なお、これらの事例のいくつかでは、指導の中に「読書へのアニメーション」の手法を取り入れた。「読書へのアニメーション」とは、本を一人で十分に読めない子どもを手助けして、自分一人で読んで理解し、深く考えて自分のものにすることができる力を引き出すために、スペインのモンセラ・サルトが開発した教育メソッドである。「アニメーション (animasion)」とは、ラテン語のアニマ (“anima” = 魂・生命) が語源で、魂に命を吹き込み活気づけることをいう。このメソッドには、「戦略 (作戦)」と呼ばれる創造的な遊びが75通り紹介されている。「読書へのアニメーション75の作戦」では、75の作戦を、幼児教育向け：12作戦、小学校向け：30作戦、中学校・高校向け：33作戦と段階別に分類して紹介している。

〈研究協力委員〉

栃木県立石橋高等学校	教 諭	古 口 のり子
栃木県立栃木工業高等学校	教 諭	菅 原 葉 子
栃木県立黒磯高等学校	教 諭	金 子 ゆ み

〈研究委員〉

栃木県総合教育センター	研究調査部	指導主事	吉 澤 正 光
-------------	-------	------	---------